

平成16年度事業報告書

事業報告

自 平成16年4月1日

至 平成17年3月31日

【Ⅰ】概況

この一年わが国経済は、長期にわたる低迷で、依然として回復の兆しが見えず厳しい状況で推移しました。しかし一方ではライフスタイルの変化や高齢化社会の進展等社会状況の変化を背景に、「心の豊かさゆとり」ある生活を送る為に、様々なスポーツ活動を積極的に実践しようとする気運が高まっております。スポーツは益々身近なものになり、健康増進への欲求はさらに拡大するものと予想されます。

当財団は設立以来26年を経過し、本年度もその事業目的であるスポーツ科学の研究助成並びにオリンピック事業の推進、トップレベルの選手育成・強化を目的とした団体、また同時に国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与することを目的とした団体への助成を中心に活動を行うなど、関係者各位のご支援により所期の目的を達成することができました。

さらに、機関誌として「デサントスポーツ科学」Vol. 25を刊行し前年度の事業成果を広く公表いたしました。

【Ⅱ】研究及び助成報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1)研究委託(200万円)

学術委員会・選考委員会において審議の結果、下記1件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

①「効果的負荷トレーニングによる運動能力の向上」

研究リーダー

東海大学

寺尾 保

2)課題研究(100万円)

学術委員会・選考委員会選定テーマ「効果的な身体能力の向上」の調査・研究に対する助成で、応募総数24件のうち、下記1件に対し助成を行いました。

- ①「高気圧・高濃度酸素は筋疲労および筋痛を早期に回復できるか」
研究リーダー 京都大学 石原 昭彦

3)自由課題研究(総額 940 万円)

全国にわたる 99 の大学または、その他の学校、研究機関より応募された 157 件の課題の中から学術委員会・選考委員会の審査の結果、下記 23 件に対し助成を行いました。

●最優秀入選(100 万円)

- ①「高齢者の理想的な身体活動量とフィットネス—健康長寿漁村の事例から考える」
東京大学 山内 太郎

●優秀入選(各 50 万円)

- ①「健常者の食後血中トリグリセリド上昇における定期的運動トレーニングの有効性」
筑波大学 曾根 博仁
- ②「複雑な指運動は本当に脳の活動を促すのか？」
大阪大学 青木 朋子
- ③「運動後に行うアイシングの長期的な適用の影響について」
愛知みずほ大学 大西 範和
- ④「さまざまな傾斜の路面を走るときの筋活動」
中京大学 桜井 伸二
- ⑤「高い保温性と運動機能性を両立した快適なウェットスーツの開発」
実践女子大学 鎌田 佳伸
- ⑥「ローイング・トレーニングが中高年者の糖処理能力に及ぼす影響」
早稲田大学 寺田 新

●入選(各 40 万円)

- ①「高校生における腰椎及び大腿骨近位部骨密度とその決定要因の縦断的研究—中学・高校期のスポーツ活動に焦点をあてて—」
京都教育大学 中 比呂志
- ②「運動時の全身循環および体温調節機能をサポートする下肢圧迫法の開発」
奈良女子大学 鷹股 亮
- ③「スポーツウェアの『はりつき』がパフォーマンスに及ぼす影響」
兵庫教育大学 潮田 ひとみ
- ④「運動時の体表振動特性とレオタードの体表振動抑制効果」
山梨県立女子短期大学 齋藤 秀子

⑤「超音波法を用いたヒト静脈血管コンプライアンスの定量的評価手法の
開発とその応用」

県立広島女子大学 遠藤 雅子

⑥「筋エネルギー代謝系への負荷を基準とした運動処方の開発」

鹿屋体育大学 浜岡 隆文

●佳作入選（各 30 万円）

①「体脂肪減少速度とリバウンド現象の関係—中枢性摂食調節因子からの検討—」

共立薬科大学 木村 真規

②「若年肥満者の血中アディポサイトカインレベルに対する運動特性からみた
トレーニング効果」

大阪市立大学 原 丈貴

③「加齢と運動習慣が好中球の生体防御機構に与える影響」

北海道教育大学 神林 勲

④「廃材イグサを利用した上衣の快適衣服内環境の感性工学的検証」

熊本県立大学 福岡 義之

⑤「筋の肥大・萎縮と熱ショックタンパク質およびカルシニューリンの関連」

熊本大学 大石 康晴

⑥「野球選手の着衣条件からみた熱中症予防に関する研究（アンダーシャツ素材を
中心に）」

横浜国立大学 田中 英登

⑦「繊維製品の肌触り評価のための接触特性計測システム開発に関する研究」

信州大学 上條 正義

⑧「血管拡張能を高める運動トレーニングの条件」

日本女子体育大学 大森 芙美子

⑨「高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について」

高知女子大学 川口 順子

⑩「豆乳の摂取が女子長距離ランナーの骨塩量および女性ホルモンに及ぼす効果」

順天堂大学 鯉川 なつえ

以上、研究委託 1 件、課題研究 1 件、自由課題研究 23 件の研究成果報告につきましては、平成 17 年 6 月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.26 において広くわが国の研究機関、関係者に公表いたします。

(2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会への助成を行いました。

(3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250万円）

国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、財団法人日本体育協会に助成を行いました。

(4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250万円）

オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。

(5)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、本財団の事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会等に対し賛助を行いました。

【Ⅲ】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.25 発行

平成 16 年 6 月

(2)第 26 回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時： 平成 16 年 6 月 10 日（木）

11:30～11:45 理事会・評議員会

11:45～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①平成 15 年度事業報告書承認の件

②平成 15 年度収支決算書承認の件

③株主権の行使について

④黒田善雄氏の選考委員退任について

(3)第 13 回課題学術研究 第 26 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究

助成金交付 平成 16 年 8 月 10 日

(4)第 14 回課題学術研究及び第 27 回自由課題学術研究公募開始

平成 16 年 9 月 1 日

(5)日本体力医学会国際交流基金への寄附金交付

平成 16 年 9 月 10 日

(6)第 14 回課題学術研究及び第 27 回自由課題学術研究公募締切

平成 16 年 11 月 20 日

(7)第 14 回課題学術研究及び第 27 回自由課題学術研究公募申請書審査

平成 16 年 11 月 20 日～平成 17 年 2 月 10 日

(8)第 13 回課題学術研究、第 26 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究
成果報告書提出締切

平成 16 年 11 月 25 日

(9)財団法人日本オリンピック委員会ならびに財団法人日本体育協会への寄附金交付

平成 16 年 12 月 24 日

(10)学術委員会・選考委員会

日時： 平成 17 年 2 月 25 日（金） 12:00～14:30

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①第 27 回学術研究委託テーマ選定の件

②第 14 回課題学術研究公募審査の件

③第 27 回自由課題学術研究公募審査の件

④第 15 回課題学術研究テーマ選定の件

(11)理事会・評議員会（書面）

月日： 平成 17 年 3 月 23 日（水）

議題： ①平成 17 年度事業計画書案承認の件

②平成 17 年度収支予算書案承認の件

以 上

平成16年度収支決算書

収 支 計 算 書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 基本財産運用収入	(15,300,000)	(23,913,886)	(△8,613,886)	
基本財産利息収入	15,300,000	16,300,171	△ 1,000,171	
基本財産配当金収入	0	7,613,715	△ 7,613,715	
2. 雑 収 入	0	(13,119)	(△13,119)	
受 取 利 息	0	2,462	△ 2,462	
雑 収 入	0	10,657	△ 10,657	
3. 寄 付 金 収 入	(0)	(0)	(0)	
寄付金収入	0	0	0	
4. 特定預金取崩収入	(30,000,000)	(20,000,000)	(10,000,000)	
記念事業積立金取崩	10,000,000	0	0	
助成金積立預金取崩	20,000,000	20,000,000	0	
当期収入合計	45,300,000	43,927,005	1,372,995	
前期繰越収支差額	2,649,372	2,649,372	0	
収入合計	47,949,372	46,576,377	1,372,995	
II 支出の部				
1. 事 業 費	(28,400,000)	(27,134,845)	(1,265,155)	
(1) 課題研究費	1,000,000	1,000,000	0	
(2) 委託研究費	2,000,000	2,000,000	0	
(3) 助成金支出	9,400,000	9,400,000	0	
(4) 寄附金支出	6,000,000	6,000,000	0	
(5) 資料収集調査費	2,000,000	1,275,000	725,000	
(6) 印刷製本費	8,000,000	7,459,845	540,155	
2. 管 理 費	(4,800,000)	(3,740,663)	(1,059,337)	
(1) 給与手当	1,300,000	1,269,441	30,559	
(2) 会議費	1,600,000	1,441,572	158,428	
(3) 旅費交通費	1,500,000	926,000	574,000	
(4) 通信運搬費	100,000	74,080	25,920	
(5) 消耗品費	50,000	0	50,000	
(6) 印刷製本費	100,000	0	100,000	
(7) 雑 費	150,000	29,570	120,430	
3. 特定預金支出	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	
助成金積立預金	10,000,000	10,000,000	0	
4. 予 備 費	(500,000)	(0)	(500,000)	
当期支出合計	43,700,000	40,875,508	2,824,492	
当期収支差額	1,600,000	3,051,497	△ 1,451,497	
次期繰越収支差額	4,249,372	5,700,869	△ 1,451,497	